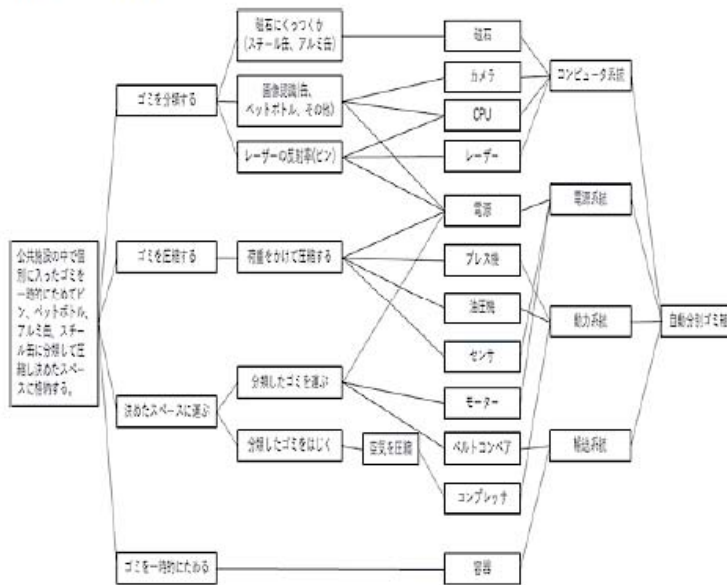


ゴミの自動分別

目的・動機

大規模イベント後など公共施設でゴミが分別されずに大量に放棄されていることがある。そこで個別に入ったゴミを一時的に保管してビン、アルミ缶、スチール缶、ペットボトルに分類して圧縮する方法を提案する。

思考展開図



装置概要

- ・ゴミを捨てる
- ・ベルトコンベアでゴミを上まで運ぶ
- ・カメラで缶を識別し缶をはじく→磁石でスチール缶とアルミ缶をわける
- ・カメラでペットボトルを識別しはじく
- ・レーザーを放ち反射率を使いビンを識別しはじく
- ・その他のゴミはプレス機で圧縮し捨てる

結論

スチール缶、アルミ缶、ペットボトル、ビン、その他のゴミをわける装置を考えた。これによりゴミが大量にあってもゴミの分別がスムーズに行える。

イラスト

